

別記様式 1、2 記載要領

1 文章表記の共通事項

各別記様式の記載内容については、選考会、表彰式、事例集等で使用しますので、以下のとおり統一してください。

- (1) 団体、事業等の名称が長く、2回目以降に略称を使用する場合は、最初の記載で「○○○○○（以下「●●」という。）」を記載してください。
例) 池袋都民防災教育センター（以下「池袋防災館」という。）
- (2) 算用数字の記載について、2桁以上は半角で記載してください。
なお、団体名、事業名等の名称はこの限りではありません。
例) 平成28年、令和8年
- (3) 英字の記載について、4文字以上は半角で記載してください。
例) Instagram、SNS
- (4) 一般的にあまり知られていない単語等は、括弧書きで補足してください。
例) FMB (First Mission Box/ファースト・ミッション・ボックス：非常時に誰でも対処できるように、必要な動作等を細分化した指示書)
- (5) 2以降の各別記様式の記載事項を優先してください。

2 別記様式 1

- (1) 「団体名」欄
受賞した場合に賞状に記載する名称とし、ふりがなを記載してください。
- (2) 「事例名」欄
事例の内容を容易に理解することが可能な名称とし、ふりがなを記載してください。
なお、サブタイトルを記載する場合は、改行後「～●●●●●～」で記載してください。
- (3) 「取組期間」欄
団体の設立期間とは異なります。応募する取組事例の取組期間を記載してください。現在まで継続している取組事例は、取組開始から令和8年4月末日までの期間を計上してください。
- (4) 「募集テーマ番号」欄
別紙1の募集テーマに該当する番号を記載してください(複数選択可)。
- (5) 「事例の内容」欄
当該事例の経緯（活動の背景、地域特性など）、内容、特色（創意工夫した点など）などについて1,000字程度で記載してください。
また、訓練について内容を記載する場合には、訓練内容や年間に何回、何名参加したかなど具体的に記載してください。
- (6) 「前回受賞からの発展性または継続性」欄は、過去に地域の防火防災功労賞で「受賞」した時からの発展性などを記載する欄です。前回の「応募」からではありません。
- (7) 「苦勞した点」欄
活動の際に苦勞した点について、200字程度で記載してください。
- (8) 「セールスポイント（特徴）」欄
当該事例のセールスポイント（特徴）について、200字程度で記載してください。

(9) 「受賞歴及び応募歴」欄

これまでに受賞した表彰種別・受賞年月（「防災まちづくり大賞」等、地域の防火防災功労賞以外の賞を含む。）及び地域の防火防災功労賞への応募実績（応募回）を必ず記載して下さい。

(10) 「団体種別」欄

次のうちから該当するものの記号を記載してください（複数選択可）。

主：町会・自治会等の自主防災組織

事：事業所

ボ：ボランティア団体、NPO法人

教：小学校、中学校等の教育機関及びPTA

他：その他の団体・組織等（具体的に記載）

(11) 「団体概要」欄

当該団体の構成人員及び団体を説明する内容を簡潔に記載してください。

(12) 「設立年月」欄

当該団体の設立年月を記載してください。

3 別記様式2

写真（8枚以内）を貼付し、それぞれの写真に題名を付してください。